

まちかどピックス

地域の催しや明るい話題などが
ございましたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5002(秘書広報室)



守り続ける文化を熱演



▲日ごろの練習の成果を発表する学生たち(南淡中学校)

人形浄瑠璃の後継者6団体

淡路人形浄瑠璃を受け継ぐ市内の六団体が、日ごろの練習の成果を披露する「淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会」(財団法人淡路人形協会主催)が八月七日、三原公民館で開かれました。

始めに淡路人形協会理事長の中田勝久市長から「多くの方々の苦勞で伝承されてきた人形浄瑠璃。市としても世界にほこれる伝統芸能であるこ

とあいさつ。その後、市小学校、三原中学校、南淡中学校、三原高等学校、福井子供会、人形浄瑠璃部、淡路人形浄瑠璃青年研究会が次々と腕前を披露。人間国宝の鶴澤友路師匠と淡路人形座の特別講演もあり、観客を魅了しました。

会場前には、人形協会と淡路人形芝居サポートクラブで作成した色鮮やかな各団体名が書かれた「のぼり」が立てられ、雰囲気づくりに一役かかっていました。



▲大きなマグロを切り分け、振る舞われました

ダムと自然への理解を深める

論鶴羽ダムふれあいフェスタを開催

ダムの役割を知り自然や環境について理解を深めてもらおうと、「論鶴羽ダムふれあいフェスタ」(南あわじ市・淡路県民局主催)が七月二十八日、開催されました。

この催しは市内にあるダムで毎年行われており、今回で十七回目。

を覚えて帰ってください」とあいさつ。その後、ダム内部や貯水池周辺を、クイズやゲームをしながら回るウォークラリーが行われ、参加者はゆつくりと鳥のさえずりや水の流れる音を聞きながら歩いていました。

また、隣接のサイクリングターミナルでは、うなぎのつかみどりやフリスビー、サッカーのキックターゲットなど



▲ダムの周辺を回るウォークラリー参加者

が行われ、たくさんの小学生が挑戦していました。

巨大なマグロも振る舞われ、賑わう

みどりどんとこいまつり2005

地域の活性化を図ろうと、七月三十一日、緑市民センターで「みどりどんとこいまつり2005」(同実行委員会主催)が行われ、約3千人の家族連れらで賑わいました。市民センター前に設置された野外特設ステージでは、阿波踊りや和太鼓、大正琴の演奏などが行われ、ステージを取り囲んで夜店なども並びました。また、商工会青年部のテントでは、全長約1.5メートルのマグロを4時間かけて丸焼きにし、来場者へ振る舞われました。



▲8月19日、中田市長(中央)へ報告に訪れ、硬手を交わす奈木佑次さん(右)と正木健人さん(左)

おめでとう

奈木佑次さん、正木健人さん
柔道・全国大会でメダル獲得

奈木佑次さん(福良、三原・志知高等学校講師)は、八月七日、県立武道館で行われた「第三十回全国教職員柔道大会」で、兵庫県チームの一員として出場し、優勝しました。奈木さんは、五戦五勝し、チームの優勝に貢献しました。

正木健人さん(北阿万、育英高校三年)は八月一日～三日、千葉県の成田市体育館で行われた「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)・柔道競技」で、団体・個人(百キロ超級)とも三位の成績を収めました。

遊びは子どものカルシウム

夏休みに「あそび塾」を28講座開催



▲作った紙ヒコーキを一齐に飛ばしました

夏休みを過ごす市内の子もたちを対象に、「あそび塾」(市教育委員会主催)が七月二十一日～八月二十九日の間に行われ、「夏山登山」や「ミステリアス・ナイトウォーク」など二十八の各種講座開催され、延べ千二百六十人が参加しました。

あそび塾は「遊びは子どものカルシウム」をキャッチフレーズに、学校では体験できないことを小学校の教諭らが企画し、地域の高校生や青年、

高齢者らと連携して運営されています。

八月十二日には、西淡社会教育センターで、「紙ヒコーキ選手権大会」が行われ、五十二人の子もたちが参加しました。元教諭の富岡純さんの指導を受け、数種類の紙ヒコーキが折られ、距離とスピードで競われました。中にはUターンして戻ってくる紙飛行機もありましたが、藤川大輝くん(西淡志知小)は最長の二十四・五メートルを記録。「遠くまで飛ばすことができ、気持ちよかったです」と喜んでいました。

自慢のカブトムシで熱い戦い

カブトムシキョウランプリ

カブトムシが木の土俵上で力強さを競い合う「カブトムシキョウランプリ」が松帆活性化センターで、七月二十七日、開催されました。

この大会は、子どもたちに生き物を大切に飼うことを理解してもらうことや、親子のふれあいを目的に、市教育委員会が今年はじめて開催したものです。大会には、市内外から小学生六十九人が参加。それぞれ自慢のカブトムシを

持ち寄り、熱戦が繰り広げられました。

ルールは丸太の土俵から落ちたり、ひっくり返ったりした方が負け。小学生やその保護者らは、土俵を取り囲みカブトムシの動きに歓声を上げながら熱い視線を送っていました。

お父さんと一緒に捕まえたカブトムシで出場した河辺慎太郎くん(湊小学校2年)は「一回戦で負けて悔しい。来



▲カブトムシに声援を送る子どもたち

年は強いカブトムシを捕まえない」と悔しそうに語っていました。

大連市の中学生が三原中学校を訪問

中国の大連市から中学生4人が親善のため、八月十八日～25日まで南あわじ市に滞在しました。これは淡路三原ロータリークラブ(日種顯夫会長)が招いたもので今年で2回目。20日、訪問団は三原中学校(辻川一之校長)を訪れ、部活動の見学に回りました。



▲郷土部員から遣い方を学ぶ大連市の中学生

郷土部では、淡路人形浄瑠璃を鑑賞した後、部員から人形の遣い方を教わりました。劉暢くんは「皆んな真剣に取り組んでいた。日本の伝統芸能に触れて、面白かった」と感想を述べていました。

市内の高校生、各種目で全国大会出場(敬称略)



▲上段左から市川、原口、坂本、杉本、新崎、宮地。下段左から畑野、中田市長、望月、田中

- ◆マドンナカップIN伊予市ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権
新崎美希・富地麻奈美ペア(志知高校) 〓ベスト8、市川絵梨香・原口望ペア(三原高校)、杉本弥奈美・坂本有里ペア(同)
- ◆全日本ビーチバレージュニア男子選手権
望月聖矢・田中省吾ペア(三原高校) 〓ベスト16、畑野翔太・黒田浩二郎ペア(同)
- ◆インターハイ・走り高跳び
佃 優貴 (三原高校)
- ◆インターハイ・重量挙げ
(八十五キロ級)
仲尾 和也 (淡路高校)